

第46回 東海ダービー

優勝賞金500万円
(シンボリクリスエス賞)

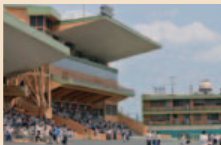
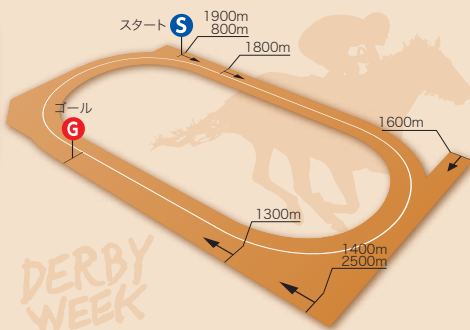
The Derby Week
シンボリクリスエス賞
2016

6/7(火)
名古屋競馬場
1,900m



過去5年で3連単の6ケタ配当が3回と、その年によって大きな波がある一戦。梅雨どきに行われるだけに、馬場状態を含めた展開の予想が重要なカギとなる。

- 右回りコース
- 1周1100m
- 幅23~25m
- ダービー出走可能頭数12頭



単勝	○	枠番連複	○	馬番連複	○	ワイド	○	3連単	○
複勝	○	枠番連単	×	馬番連単	○	3連複	○	重勝式	×



ダービーにジョッキー聞く ダービーの思い出

2015 東海ダービー [バズーカ] 今井 貴大 騎手

レースでは初めてのコンビだったので、能力的なところもよく分からなかったですし、逆に初めてだったから、何も考えることなく臨めたのかもかもしれませんね。レース前も、ちょっと外に行きたがる面があ

注目の競走馬

カツゲキキトキト

父	スパイクキュール
母	レイビスティー
母父	キングカメハメハ
馬主	野々垣 正義
調教師	錦見 勇夫
生産者	朝野 勝洋



昨年11月に2勝目を挙げてから低迷したが、年明け2戦目から覚醒して6連勝。重賞でも4連勝で、そのすべてが完勝という成績ならば、東海ダービーでも大いに注目できるだろう。

ホウライマリン

父	サウスヴィグラス
母	ホウライビクトリア
母父	コロナドズクエスト
馬主	橋元 幸人
調教師	藤ヶ崎 一人
生産者	ナカノファーム



2歳時に8戦6勝、3着2回と快進撃を続けたが、年明け以降は善戦までという状況。それでも大崩れのない成績となっており、大舞台でも善戦以上を狙えそうだ。

センターフォワード

父	エーシンフォワード
母	ニシオノーブル
母父	サッカーボーイ
馬主	馬場 祥晃
調教師	角田 輝也
生産者	ファームギヤナキタ



昨秋のデビュー戦を圧勝し、続くゴールドウイング賞は大敗したが、その後は連勝。駿蹄賞は3着だったが、2着馬とはアタマ差。休み明け3戦目で前走以上を狙いたいところだ。

と言われた程度で、本当に自然体で乗れました。どのレースでも勝つのはうれしいですが、ダービーはやっぱり特別ですよ。4年前に初めて勝ったときはゴール前が混戦でしたし、検量に戻ったところで勝ったと聞いてビックリしましたが、バズーカのときは楽しむ余裕がありました。今年もダービーに出ることができたら、3回目の勝利を狙っていきますよ!

プレイバック&データ

第45回 東海ダービー (2015)

名古屋/1900m/12頭/2015.6.5/雨重

枠番	⑦	馬番	⑨	馬名	バズーカ
1 所属	愛知	性齢	牝3	負担重量	56
騎手	今井貴	調教師	川西毅	タイム	2.04.3 人気 ③

枠番	⑧	馬番	⑪	馬名	ツリハウス
2 所属	笠松	性齢	牝3	負担重量	54
騎手	向山牧	調教師	川嶋弘	着差	1 人気 ⑥

枠番	⑥	馬番	⑦	馬名	ミトノレオ
3 所属	愛知	性齢	牝3	負担重量	54
騎手	岡部誠	調教師	川西毅	着差	クビ 人気 ②

枠番	③	馬番	③	馬名	メモリドルマン
4 所属	愛知	性齢	牝3	負担重量	54
騎手	山田祥	調教師	塚田隆	タイム	1½ 人気 ⑨

枠番	⑥	馬番	⑧	馬名	ネイチャークルーズ
5 所属	笠松	性齢	牝3	負担重量	54
騎手	佐藤友	調教師	山中輝	着差	9 人気 ⑦



第45回(2015)バズーカ

出走12頭のうち牝馬が11頭というメンバー構成。断然の1番人気は駿蹄賞を8馬身差で圧勝したハナノパレードだったが、ダービーでは先手主張から早々に失速して最下位に敗退。代わって台頭したのは、ダービー直前に兵庫から移籍してきたバズーカ。後方から追い上げて、最後の直線で力強く差し切った。今井貴大騎手はダービー2勝目、川西毅調教師はダービー4勝目となった。

データ分析

※過去10年間のデータを分析

枠番別成績

枠番	成績	勝率	連対率	3着内率
1枠	0-1-1-8	0%	10.0%	20.0%
2枠	0-1-0-9	0%	10.0%	10.0%
3枠	0-1-1-8	0%	10.0%	20.0%
4枠	1-0-1-8	10.0%	10.0%	20.0%
5枠	1-2-1-15	5.3%	15.8%	21.1%
6枠	3-1-2-14	15.0%	20.0%	30.0%
7枠	3-2-3-12	15.0%	25.0%	40.0%
8枠	2-2-1-15	10.0%	20.0%	25.0%

東海ダービーでは外枠の成績が優勢。さらに2010年以外は、6~8枠から発走した馬が1頭以上連対しているという結果にもなっている。

単勝人気別成績

単勝人気	成績	勝率	連対率	3着内率
1番人気	4-2-2-2	40.0%	60.0%	80.0%
2番人気	1-2-3-4	10.0%	30.0%	60.0%
3番人気	1-0-1-8	10.0%	10.0%	20.0%
4~5番人気	3-2-1-14	15.0%	25.0%	30.0%
6番人気以下	1-4-3-61	1.4%	7.2%	11.6%

単勝1番人気馬の信頼度は上々だが、昨年は断然人気馬が最下位に敗退。伏兵が台頭するケースも多いだけに、今年も警戒しておく必要があるだろう。

2~4走前に重賞で3~5着に入っていた馬が好相性!?

年度	着順	馬名	該当レース	着順
07年	1着	マルヨフェニックス	2走前 スプリングC	5着
08年	2着	ノゾミカイザー	4走前 園田ユースC	3着
09年	2着	トウホクビジン	4走前 新緑賞	3着
11年	2着	ミサキティンバー	3走前 新緑賞	4着
12年	1着	マイネルセグメント	3走前 スプリングC	5着
	2着	ブライトシンプー	2走前 駿蹄賞	4着
13年	1着	ウォータープライド	4走前 ゴールドジュニア	4着
	2着	ホウライジェントル	2走前 新緑賞	3着
14年	2着	ノゾミダイヤ	2走前 駿蹄賞	4着
15年	2着	バズーカ	2走前 菊水賞	5着

2006年と2010年を除き「2~4走前に重賞で3~5着に入っていた」馬が1頭以上連対している。重賞での善戦歴がある馬には、今年も注意しておきたいところだ。